

富士宮西ロータリークラブ会報



UNITE
FOR
GOOD



伊原 謙治 会長

国際ロータリー第 2620 地区 2025～2026 年度 RI 会長 フランチェスコ・アレツォ 会長 伊原 謙治 幹事 岡村 吉彦

例会場 富嶽温泉 花の湯 例会日 毎週金曜日 月の最終週は夜間
事務所 〒418-0003 静岡県富士宮市ひばりが丘 805 富嶽温泉 花の湯内 公式HP <http://fujinomiya-west-rc.com/>
TEL 0544-28-1126 FAX 0544-25-8182 Mail fujinomiyawestrotary@mountain.ocn.ne.jp

No.11 通算 1620 号 2025 年 10 月 10 日(金)

♪Rotary Songs 我らの生業

ゲスト・ビジター

ラモーナの会 大塚 清美 様

会長挨拶

会長 伊原 謙治 君

みなさん、こんにちは。10月も深まりすっかり秋らしくなってきました。今話題の大阪・関西万博も今年4月13日に始まり、残りわずかの今月10月13日(月曜日)に184日間の開催を終わろうとしています。9月末時点で2,269万人の一般来場者数で最終日までにおおよそ延べ2,500万人の来場者数が見込まれています。単純に日本人の5人の内の一人が万博に行った計算になります。皆さんは万博に行かれましたか？私は、9月24日(水)に1日だけ弾丸旅行で行ってきました。一日だけでしたので、とても回り切れず、また深く理解も出来ませんでした。それでも少しだけ感想を述べさせていただきます。まず、参加国数158か国、国際機関は9つ。万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」です。そして、日本館のテーマは「いのちと、いのちの、あいだに」です。要は全体的に「いのち」をテーマにした万博のようです。一周2kmの大屋根リングは壮大で圧倒されました。公式キャラクターの「ミyakミyak」は漢字の「脈々」に由来しているようで、人間の脈々と受け継がれてきたDNA・知恵・技術・文化などの可能性を身に宿し脈々と未来につなげて欲しいという希望を込めた不思議な生き物だそうです。なんか滑稽な姿がとっても可愛らしく人気者です。

印象深かったパビリオンについては2つほど。一つは「パソナパビリオン」、ここはIPS細胞から制作した心筋シートを用いた「動くIPS心臓」などを展示するほか、生命の歴史をあらわしたモニュメントです。ここは日本が世界にリードするIPS細胞技術が難病への新たに治療法や画期的な新薬を生み出す可能性が期待されています。もう一つは、「日本館パビリオン」。大きな特徴は「循環」で、「ごみ」から「水」へ、「水」から「素材」へ、「素材」から「もの」へと命をつなぐプロセス。人間は循環の中で生かされている事。持続可能な社会の実現を体験し、未来の暮らしを体験できるスポットでした。万博で見た近未来はわくわく感でいっぱいになります。タクシーの運転手に伺ったら、一人で40回も万博に訪れた大阪人がいたそうです。私は大変うらやましく思い、またそのぐらいにしないと全部を回り切れないし、万博の良さや楽しさを感じ取れないと感じました。以上、一日でしたが大阪・関西万博の感想です。

幹事報告

■詳細別紙

＊クラブ行動3年計画の継続審議

＊次次年度2620地区ガバナー補佐(＊合わせてIM企画担当)を当クラブから選出する件について審議

＊5クラブ親睦ゴルフコンペ…11/25開催

■米山委員会より

10/31 米山梅吉記念館訪問について

【会報委員会】 委員長：加藤康雄 委員：片岡博昌 貫名英舜 石田道彦 近藤千佳

出席報告

	会員数	計算会員数	出席	欠席	M U	比率
今 週	18	16	15	2	0	93.7%

欠席者：※外木規之君、※堀水東志夫君、近藤憲司君、
近藤千佳君、遠藤克彦君、片岡博昌君

本日のお祝い

結婚記念日：近藤謙治君 S47. 10. 10
渡邊奈津実君 H27. 10. 10
後藤憲治君 S55. 10. 10
創業記念日 加藤康雄君 h3. 11. 1
岡村吉彦君 H17. 11. 4
入会記念日 近藤謙治君 H23. 11. 1

スマイル

○ノーベル生理学医学賞・ノーベル化学賞の二つを受賞しました。おめでとうございます…加藤康雄君
○大塚清美様、ご講演をよろしくお願いします…伊原謙治君
○人生いろいろ、ロータリーもいろいろ…遠藤壽男君

本日の予定

公共イメージ委員会担当

テーマ 「ラモーナの会 読み聞かせと読書」

ラモーナの会代表 大塚 清美 様

(静岡県子ども読書アドバイザー)

※企画 公共イメージ委員会 渡邊奈津実君

子供たちに良い本を読んでもらいたいが「良い本とはどんな本なのか」という問題が生じます。富士宮市のPTA連絡協議会ではこの要望に応えようとしています。子どもたちに読ませる予定の課題本を読んで深く理解することを進めています。のみなならず、その延長線上に「どう子育てしたらよいのか」について自由に語り合い、子どもの知育・徳育につなげていこうとするのが「ラモーナの会」です。子供の本(課題本)を私たち親が読んで集まり、感想などを語り合う



ことで「子供の本」の持つ魅力や本の力を知り、子供と一緒に本を楽しむきっかけになればと考える会です。

富士宮西ロータリークラブ様には、このラモーナの会の趣旨をよくご理解くださり、2015 年当会創設以来、課題本購入配布について財政的なご支援をいただいております。会員一同並びに子どもたちより御礼申し上げます。

さて、市内の公立学校において子どもに良書を提供し読書体験をさせるという活動は40年前から始まりました。

また、子どもに絵本を読み聞かせをするという活動も昔から行われて来ましたが、これらは有志によるボランティアで行われて来たという経過があります、この良書の推薦と読み聞かせ活動を組織的に一本化し、代表を置くネットワーク組織として整備されました。登録した会員は300 名います。

25 年前にこの活動が市の教育委員会が注目し、当時の藤井教育長の判断で市から財政的援助を得られる会として認知されました。

特に、小学校における「読み聞かせ」はその教育的効果が評価され、無償ボランティアの他に、社会教育課による有償ボランティア（時給 1000 円程度）が活動を始めることになります。この二つの組織はそれぞれに独立していますが、この両方に登録している会員がいます。

ラモーナの会は平成 25 年に市内小中学校の市P連母親委員会の研修として始まったという経過があります。世界の児童文学の名作と一緒に読み、母親として印象に残ったシーンについて話し合い、日頃の子育てについて話し合うというところに重点が置かれています。今、デジタル時代において本をアナログで読むという機会が子どもたちから奪われています。その結果、子どもたちに思いもかけないことが起こっています。成績はすばらしいのに、手先が極めて不器用な子がいたり、ある種の情緒不安定やどこかが欠落しているような生徒が多くなりました。ご質問（遠藤壽男君）のように大変心配な状況があります。

「ラモーナの会」はこれらの問題にも取り組んで行かなければならないと考えています。

これからも変わらないご支援をいただきますようお願い申し上げます。（*要録 会報）

*会報コラム “ラモーナ”

「ラモーナの会」のラモーナとは何だろうかと興味がわいたのでネットで検索としたところ、下記の本であることが分かった。また、「ラモーナの会」が発足した2015年の小学校高学年の課題本「ラモーナとおかあさん」（ベバリー＝クリアリー著 学研 1988）に拠るようです。

感性鋭い“普通の現代の女の子”ラモーナが様々な人との出会いとふれあいの中で大人になっていくという新しいバージョンのアメリカ児童文学です。

想像してみるに、会員の母親はこの作品中の主人公との心の動きに合わせながら読み、その感動を語り、自分の子どもとの言葉のやりとりや態度のあり方に重ね合わせていく、というのが基本的に流れではないかと思えます。子どもの心と大人の心の両方を豊かに、という狙いがあります。こういった母親にとっての研修が進められているのがラモーナの会だと言えそうです。

もちろん、本来は子どもたちに読ませたい本を選び、その本の内容を知っておくために親たちが読んで理解するというものですが、それと並行して親たちの効果的で充実した子育てにとって必要なことを本から吸収しようという試みがなされているところにラモーナの会の独自性があるような気がします。

